学校名	東小学校		
ホームページURL	児童・生徒数 504 名		
(1) テーマ 世界の国々をよく知ろう	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 6年 (回答可能な場合)		
テーマの分類(ア)	下記の欄外記載事項を参照してください。		
(3) 活動のねらい	・様々な異文化体験学習を通してそれぞれの国のよさにふれさせる。と同時に自国や郷土の良さに目を向けさせる		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動1 世界の国は何カ国 ・活動2 国旗の裏に隠された秘密は ・活動3 オリンピックについて調べてみよう ・活動4 ロシアの国について調べてみよう 気候・風土は 言葉は 食べ物は 服装は ・国語「南に帰る」オリンピックの開催を契機に学習に取り組んだ。 ・グループでの調べ学習を中心に教師は場の設定を大切に学習を進めた。 ・教頭が3年間モスクワに住んだことがある。近くにロシアから来ている人がおり交流が可能。食べ物についての学習も食材が手に入る。モスクワに住む人とメールの交換も可能等今後の学習に見通しが持てる点から「ロシアの国について調べてみよう」と決定した。 <p style="text-align: right;">時数(30)</p>		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等)	<ul style="list-style-type: none"> ・5,6年の重点研究として進めた。 ・モスクワ在経験のある教頭をロシアの国を知る導入に活用した。 ・言葉の学習と交流体験としてロシアから来て近くに(坂城町)にすむ方を外部講師として3回来校してもらい交流活動を行った。 		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間30時間 ・国語「南に帰る」「オリンピックの開催地をしらべて」社会「世界の中の日本」 ・食文化を中核に扱い家庭で調べ学習に協力してもらった 		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際)	・頑張った点をたいせつに活動の様子を評価する。		
(8) 成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育を進める上では、どのような異文化体験をさせていけばよいか見通しを持つことができた。 ・イベント的扱いでなく継続的な扱いにしていくための条件整備が課題である。(毎年誰もが取り組める国際理解教育) 		

テーマの分類 横断的・総合的な課題(ア 国際理解 イ 情報 ウ 環境
エ 福祉・健康 オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題